



「富」昔ながらの 田植え再現・お田植祭

5月5日(土)、雲一つない快晴に恵まれた中、布施神社前の田んぼで、「富」昔ながらの田植え再現が行われました。牛を使ひ荒起こしや代掻きをし、仕上げの鍬代を終えると、鮮やかな衣装に身を包んだ早乙女が、横一列に並び、苗を一株ずつ手で植えています。

田んぼの周りには多くの見物客やカメラマンが詰めかけていました。

「昔ながらの田植え再現」に続き、岡山県重要無形民俗文化財に指定されている、



五穀豊穰を祈る神事「お田植祭」が布施神社で行われました。水田に見立てた境内を獅子練りで清めた後、子どもたちが牛に扮して元気に走り回り「荒起こし・代掻き」を表現しました。

「鍬代」で農民があぜを敷く姿をユーモラスに演じた後、「田植え」では、男たちが歌いながら苗に見立てたサカキの葉をまいていました。

殿様が笑えばその年は不作になると言い伝えられている「殿様と福太郎」の掛け合いでは、殿様と福太郎の滑稽なやり取りに会場は大いに盛り上がりました。殿様に大盛りのご飯を食べさせる場面では、



福太郎がご飯を何度食べさせようとしても口を結んだままだった殿様が、ついに口を開けたところで福太郎がぱくりと食べてしまい、会場はその日一番の笑いと拍手に包まれました。今年も、殿様は笑うことなく、神事は終了しました。

